

平成30年度 実施計画

水道局

総務課

工務課

浄水課

新浄水施設整備室

# 水道局 運営方針

## 1. 部内組織

部 長	青木 成敏	構成課等	総務課	工務課
			浄水課	新浄水施設整備室

## 2. 暮らしの夢(総合計画基本計画より)

つながりを大切に、まちの職員がほどよく支える暮らし

## 3. 部の重点的な取り組み

中長期的にみた重点的取り組み	今年度の重点的取り組み
<ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹管路(受水・導水・送水・配水管)の更新・耐震化</li> <li>・老朽化した給水管(鉛管)の取替</li> <li>・府域一水道の検討</li> <li>・交野市水道ビジョンの定期的な見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業団用水受水管の更新・耐震化</li> <li>・交野市水道ビジョンの策定</li> <li>・第6次拡張事業の推進(私市ポンプ場築造)</li> </ul>

## 4. 施策の柱と目的

施策の柱	施策の柱の目的	具体的施策名称
水道事業の安全・持続	水道事業を適切に運営管理するため、安定した事業経営に努め、安心して飲用していただける「おいしい水」の安定供給を推進する。	水道事業の健全な運営
		安心・安全な水道水の安定供給体制の構築
		安心・安全な水道水の安定供給体制の持続
水道事業の強靱化の推進	市民に安全でおいしい水を安定的に提供するために、基幹管路(受水管)の耐震化を進める	基幹管路の耐震化の推進

## 5. 部の現状と取り巻く環境変化

部の抱える課題・リスク	課題解決に向けた取り組み
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定年退職などによる専門技術職の減少に伴う技術継承の難しさ及び構成職員間の世代格差の広がり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な専門技術職職員の人材確保</li> <li>・世代間格差を埋めるための風通しの良い職場環境の構築による職員間の意思の疎通</li> </ul>

水道局		総務課
<b>1. 課の目的</b>		
市民に安全でおいしい水道水を、安定的に供給する。		
<b>2. 課の所掌する施策</b>		
水道事業の健全な運営		
<b>3. 課の現状と取り巻く環境変化</b>		
<b>課の抱える課題・リスク</b>		<b>課題解決に向けた取り組み</b>
企業会計等の専門知識を伴う業務があるため、専門知識の共有や継承が必要である。		企業会計等の専門知識を有する外部事業者(システム事業者)と連携を密にするとともに、外部研修等へ参加し、専門知識の習得に努める。
<b>4. 課の組織力強化のための取り組み</b>		
<b>取り組み項目</b>	<b>今年度の目標</b>	<b>昨年度の実施状況</b>
課内の情報の共有化(課内会議の実施等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>課内会議(定期・不定期)や日常の「声掛け」を通じ、職員間における情報共有を図る。</li> <li>手書きメモなどを回覧し、情報共有を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に課内会議を実施した。</li> </ul>
庁内他部署との連携や協力体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝礼(局内)の実施による業務確認</li> <li>部局長会議の情報共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝礼(局内)を実施した。</li> <li>部局長会議の内容を課内会議で情報の共有に努めた。</li> </ul>
人材育成・ノウハウ継承(業務マニュアル等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種研修会等への参加</li> <li>同一業務を複数の職員が、処理できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種研修会等に参加し、専門知識の向上に努め、当該研修会等の情報共有を図った。</li> </ul>

水道局		工務課
<b>1. 課の目的</b>		
市民に安全でおいしい水道水を、安定的に供給する。		
<b>2. 課の所掌する施策</b>		
基幹管路の耐震化の推進		
<b>3. 課の現状と取り巻く環境変化</b>		
<b>課の抱える課題・リスク</b>		<b>課題解決に向けた取り組み</b>
市民に安全でおいしい水を、安定的に提供する		<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽管の更新・基幹管路の耐震化を推進</li> <li>指定給水装置工事事業者(指定業者)の資質向上</li> <li>鉛製給水管の計画的な取替え</li> </ul>
<b>4. 課の組織力強化のための取り組み</b>		
<b>取り組み項目</b>	<b>今年度の目標</b>	<b>昨年度の実施状況</b>
課内の情報の共有化(課内会議の実施等)	引き続き情報の共有及び課内会議を実施していく。	毎朝当日の予定を確認し、毎月1回の課内会議、必要に応じてその都度会議を実施している。
庁内他部署との連携や協力体制	昨年同様、市及び企業体・近隣市との綿密な連携をとる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>下水道課、道路河川課及び企業体との重複工事</li> <li>近隣市との災害時緊急連絡管の整備や協定の締結</li> </ul>
人材育成・ノウハウ継承(業務マニュアル等)	管路システム構築による管路の更新	管路システム(アセットマネジメントを含む)の構築

水道局		浄水課
<b>1. 課の目的</b>		
市民に安全でおいしい水道水を、安定的に供給する。		
<b>2. 課の所掌する施策</b>		
安心・安全な水道水の安定供給体制の持続		
<b>3. 課の現状と取り巻く環境変化</b>		
<b>課の抱える課題・リスク</b>		<b>課題解決に向けた取り組み</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・星の里浄水場稼働から5年目を迎え、設備の点検整備業務が増える中、浄水処理に携わる専門職員の確保及び育成が急務である。</li> <li>・浄水処理過程における水質管理体制の強化</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門的な知識を持った職員の確保に努めると共に、現状職員の技術力の向上に向けて取り組む。</li> <li>・研修等を通じ水質に関する情報収集や、近隣市とのネットワーク強化に努め、水質検査体制の強化に努める。</li> </ul>
<b>4. 課の組織力強化のための取り組み</b>		
<b>取り組み項目</b>	<b>今年度の目標</b>	<b>昨年度の実施状況</b>
課内の情報の共有化 (課内会議の実施等)	各係の連携をさらに強化し、情報共有に努める。	毎月の課内会議の中で、情報を共有
庁内他部署との 連携や協力体制	水道水のブランド力強化の為、他部署と協力し、アピールに努める。	交野ブランドに認定されたペットボトル水について、他課と連携し、アピールに努めた。
人材育成・ノウハウ継承 (業務マニュアル等)	業務マニュアル、訓練を通じ、専門技術の習得に努める。	業務マニュアルや実務、緊急時訓練を通じ、技術継承に努めた。

水道局		新浄水施設整備室
<b>1. 課の目的</b>		
市民に安全でおいしい水道水を、安定的に供給する。		
<b>2. 課の所掌する施策</b>		
安心・安全な水道水の安定供給体制の構築		
<b>3. 課の現状と取り巻く環境変化</b>		
<b>課の抱える課題・リスク</b>		<b>課題解決に向けた取り組み</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・私市ポンプ場築造工事の早期完成。</li> <li>・工事箇所における地下水の発生。</li> <li>・私市ポンプ場築造工事契約後の新たな法施行による工事工法の大幅な工事計画の変更。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算管理</li> <li>・安全で適切な現場管理</li> </ul>
<b>4. 課の組織力強化のための取り組み</b>		
<b>取り組み項目</b>	<b>今年度の目標</b>	<b>昨年度の実施状況</b>
課内の情報の共有化 (課内会議の実施等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・局内会議後、室内会議で情報共有を行う。</li> <li>・重要事項がある場合、直ちに室内会議を行い全員で共有する。</li> </ul>	局内会議後は必ず報告を行った。朝礼にて、重要事項の共有を行った。
庁内他部署との 連携や協力体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係部局と十分に連携できるよう調整を行う。</li> </ul>	概ね連携、調整はできた。
人材育成・ノウハウ継承 (業務マニュアル等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種研修に参加し専門的知識を習得し、共有、継承に努める。</li> </ul>	概ね研修に参加し、室内職員に共有、継承できた。

所管部名	水道局
所管課等名	総務課

<b>施策名称</b>		水道事業の健全な運営
<b>施策目的</b>		安心・安全な水道水を安定的に供給するため、健全な運営を持続すること。
<b>今年度の重点目標</b>		施策目的を適切に達成するため、事業経営の安定性を確保する。
指針・法令等	”かたのサイズ”を目指す像	・おいに誇れるおいしい水道水が毎日飲める。 ・もったいないという思いで限りある資源を大切にしている。
	関連法令	水道法・地方公営企業法
	関連条例・規則	交野市水道事業給水条例
	関連計画	交野市水道事業基本計画(地域水道ビジョン)・第6次拡張事業・水安全計画
	要綱等	給水装置工事施工基準
	業務マニュアル	苦情処理対応指針・事件事故等対処指針
ネットワーク		(社)日本水道協会、大阪広域水道企業団運営協議会、東部大阪水道協議会

事業	名称	企業会計業務			年度	30年度目標	29年度見込	28年度実績
	1	概要	資金の管理運用及び人事・庁舎管理			活動指標	—	—
国府補助金		無し			予算・決算額	247,344千円	209,473千円	210,017千円
位置付け		法定事務	実施形態	直接実施	一次評価		C:改善・効率化	C:改善・効率化
名称		水道料金の徴収			年度	30年度目標	29年度見込	28年度実績
2	概要	メーターの検針・調定・料金の徴収			活動指標	料金の回収率	100%	99.9%
	国府補助金	無し			予算・決算額	43,740千円	43,740千円	43,740千円
	位置付け	法定事務	実施形態	直接・委託	一次評価		A:拡充・重点化	A:拡充・重点化

所管部名	水道局
所管課等名	工務課

<b>施策名称</b>		基幹管路の耐震化の推進
<b>施策目的</b>		市民に安全でおいしい水を安定的に提供する。
<b>今年度の重点目標</b>		経年管の耐震化計画
指針・法令等	”かたのサイズ”を目指す像	・おおいに誇れるおいしい水道水が毎日飲める ・災害で被害を受けないよう、少なくするよう備えている
	関連法令	水道法・地方公営企業法
	関連条例・規則	交野市水道事業給水条例
	関連計画	老朽管更新計画、鉛管撤去計画
	要綱等	給水装置工事施工基準
	業務マニュアル	苦情処理対応指針、事件事故等対処指針
	ネットワーク	(社)日本水道協会、大阪広域水道企業団運営協議会、東部大阪水道協議会

事業	名称	基幹管路の耐震化			年度	30年度目標	29年度見込	28年度実績
		活動指標	耐震化率			47%	46%	44%
1	概要	耐震管の布設						
	国府補助金	無し			予算・決算額	186,250千円	167,788千円	15,424千円
	位置付け	法定事務	実施形態	直接実施	一次評価		B:維持・継続	B:維持・継続
	名称	鉛管の撤去			年度	30年度目標	29年度見込	28年度実績
2	活動指標	残存率			36%	37%	37%	
	概要	給水鉛管の取替						
	国府補助金	無し			予算・決算額	3,110千円	1,866千円	6,200千円
	位置付け	法定事務	実施形態	直接実施	一次評価		A:拡充・重点化	A:拡充・重点化

所管部名	水道局
所管課等名	浄水課

<b>施策名称</b>		安心・安全な水道水の安定供給体制の持続
<b>施策目的</b>		市民に安全でおいしい水を安定的に提供すること
<b>今年度の重点目標</b>		水質の良い地下水を持続的に提供する為、適正な水質管理体制及び浄水施設の計画的な点検整備を行う
指針・法令等	”かたのサイズ”を目指す像	・おおいに誇れるおいしい水道水が毎日飲める ・災害で被害を受けないよう、少なくするよう備えている
	関連法令	水道法・水道法施行令・水道法施行規則
	関連条例・規則	交野市水道事業給水条例
	関連計画	第6次拡張事業計画、水安全計画、水質試験計画、新水道ビジョン
	要綱等	
	業務マニュアル	星の里浄水場運転管理マニュアル、水安全計画、SOP(水質試験標準作業書)
ネットワーク		(社)日本水道協会、大阪広域水道企業団運営協議会、東部大阪水道協議会、関西水道水質協議会

事業 1	名称	送水ポンプ設備点検整備業務委託		年度	30年度目標	29年度見込	28年度実績
	概要	送水ポンプの定期設備点検 ・摩耗部品等交換 ・内部点検	活動指標	—	—	—	—
国府補助金	無し	予算・決算額	7,543千円	—	—	—	
位置付け	選択事務	実施形態	直接実施	一次評価	—	—	

所管部名	水道局
所管課等名	新浄水施設整備室

<b>施策名称</b>		安心・安全な水道水の安定供給体制の構築
<b>施策目的</b>		自己水8、企業団水2の割合で「よりおいしい水道水」を供給すること。
<b>今年度の重点目標</b>		第6次拡張事業の推進
指針・法令等	”かたのサイズ”を目指す像	・おおいに誇れるおいしい水道水が毎日飲める。 ・災害で被害を受けないよう、少なくするよう備える。
	関連法令	水道法
	関連条例・規則	
	関連計画	第6次拡張事業計画、水安全計画
	要綱等	
	業務マニュアル	
<b>ネットワーク</b>		(社)日本水道協会、大阪広域水道企業団運営協議会、東部大阪水道協議会、

事業 1	名称	第6次拡張事業 (私市ポンプ場築造工事)			年度	30年度目標	29年度見込	28年度実績
		概要	施設の更新			活動指標 進捗率	63%	43%
	国府補助金	無し			予算・決算額	500,000千円	390,000千円	113,000千円
	位置付け	選択事務	実施形態	直接実施	一次評価		A: 拡充・重点化	A: 拡充・重点化